

1 教科について

国語

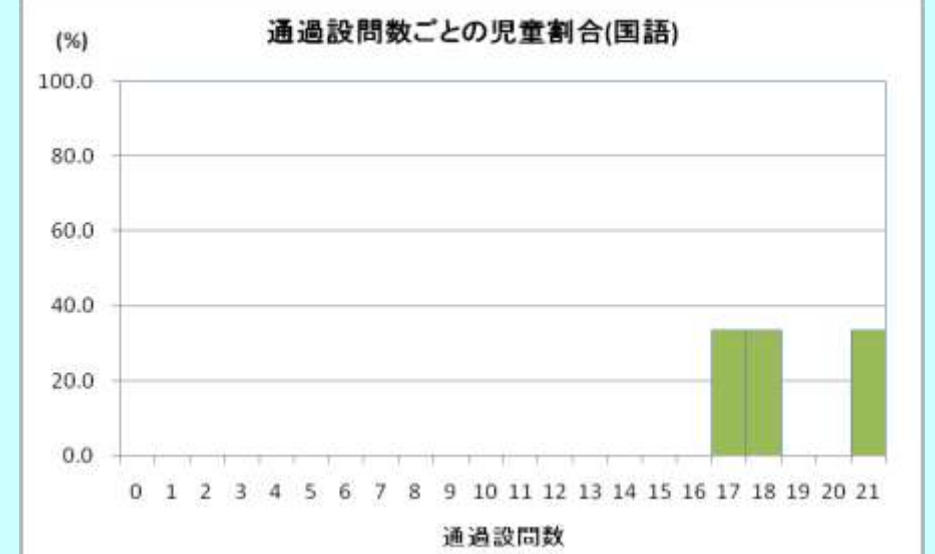
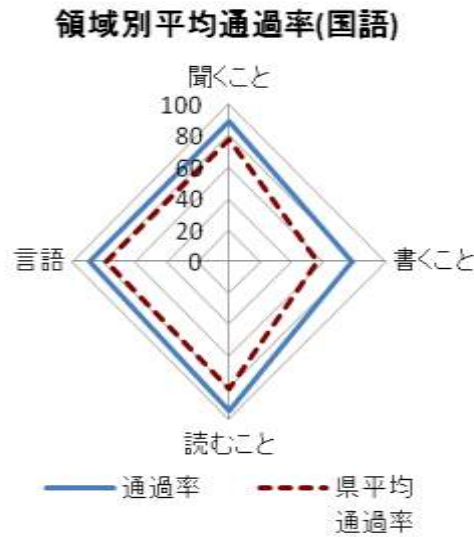
昨年度の課題

- ① (読むこと)
登場人物の性格や気持ちの変化について、叙述を基に想像して読む力が十分身に付いていない。
- ② (言語事項)
国語辞典のひき方や漢字の読みが十分に理解できていない。

昨年度の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- ① 「しっかり教える」
物語文において、読み取るための手がかりを得る着眼点(会話文、心中語、行動、表情等)を継続的にしっかり教える。
- ② 「じっくり考えさせる」
マイ辞書を授業の中でしっかり活用し、辞書のひき方や漢字学習に役立てるように指導する。
- ③ 「はっきり表現させる」
着眼点を手がかりにして読み取ったことをグループや全体で交流させる指導を小中一貫して連携し、実施する。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 88.9% 県平均 75.8%



重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査 ◇:全国学力・学習状況調査

- ◎ (言語事項)
文の中における主語と述語の関係が確実に理解できていない。
- ◎ (書くこと)
文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができにくい。
- ◇ (読むこと)
段落相互の関係を考え、文章を正しく読むことができにくい。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 「しっかり教える」
説明的文章の段落構成や論の展開を明確にする指導を継続しながら、「書くこと」「話すこと」の指導においても構成や展開の工夫に生かす指導を小中通して行う。
- ② 「じっくり考えさせる」
自分の書いた文章を見直す習慣を身に付ける。相手や場を意識させた文章を書いたり、話したりする場を継続的に設定する。
- ③ 「はっきり表現させる」
文章を書いたり、スピーチや発表をしたりする場面では、必ず主語、術語を明確にして話すように徹底して指導する。

来年度の目標値

- 「書くこと」の通過率を85%以上にする。
- 通過率80%の児童の割合を100%にする。

指導方法等の改善計画について

算 数

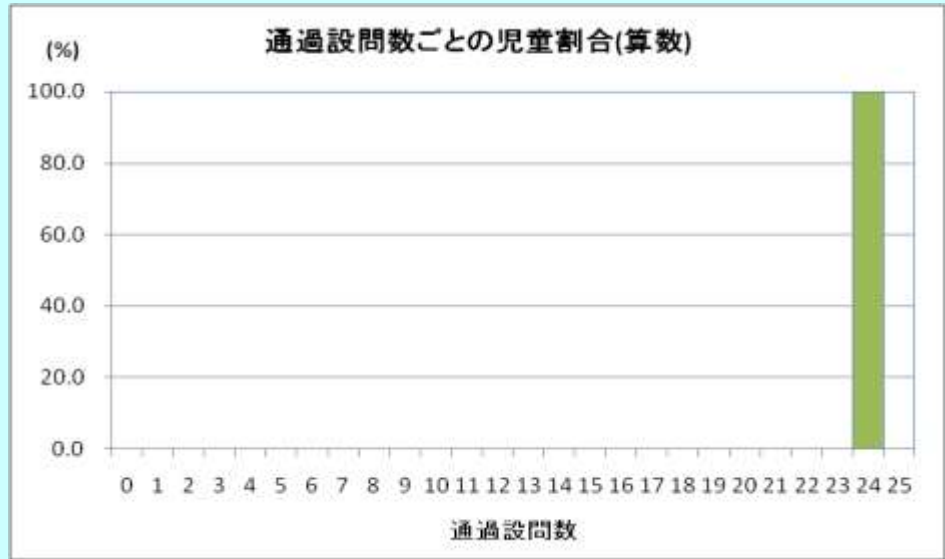
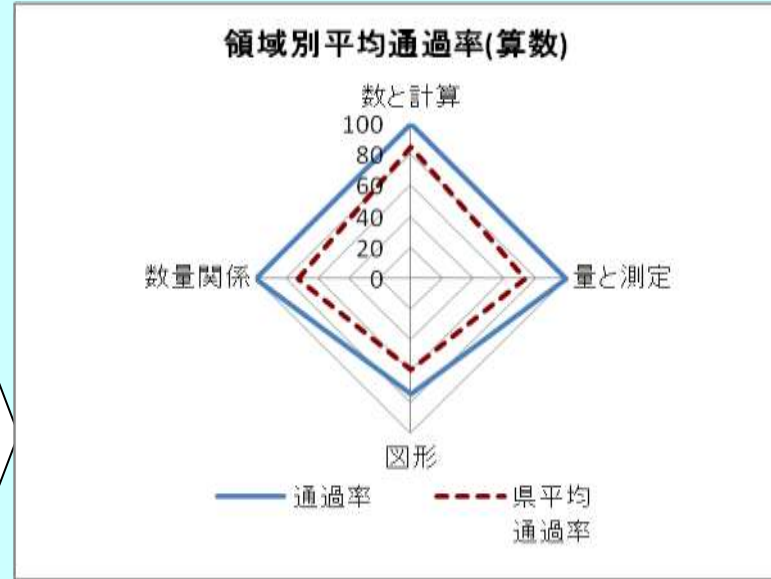
昨年度の課題

- ① (量と測定)
面積を表す単位を理解する力や分度器で角度を測定する技能が十分身に付いていない。
- ② (数と計算)
単位分数のいくつ分という表し方, 四捨五入しての概数での表し方が十分理解できていない。

昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

- ① 「しっかり教える」
基本的な数や計算の習熟を図ることをはじめ, 分度器の使い方など基本的な技能を身に付けるため, ドリルタイムやペア学習で繰り返し練習し基礎的な知識, 技能の定着を図る。
- ② 「じっくり考えさせる」
具体物の操作で, 位置関係や角の大きさ, 面積, 体積について理解を深める指導を小中一貫で連携し, 徹底する。
- ③ 「はっきり表現させる」
ノートに記述した自分の考えをもとに, 全体での練り合いの場で発表させることで, 論理的な考え方を身に付けさせる。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **96.0%** 県平均 **75.0%**



重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査 ◇:全国学力・学習状況調査

- ◎ (図形)
定義や性質に基づいて, ひし形になる理由を説明することができていない。
- ◇ (量と測定)
必要な情報を選択・判断し, その理由を記述することができていない。
- ◇ (数量関係)
2つの数量の変化に対応する式を選択することができていない。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

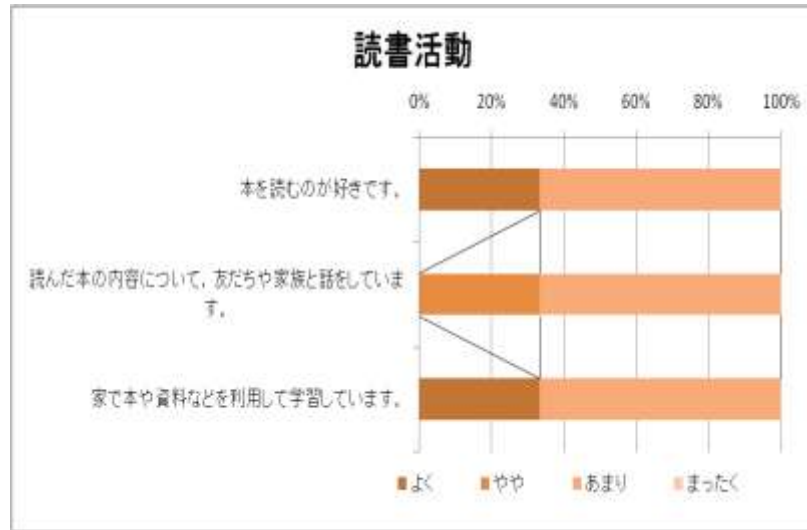
- ① 「しっかり教える」
さまざまな図形を比較しながら弁別や作図をする操作活動を仕組んでいくことで, 図形の定義や性質を確実に理解させる。
- ② 「じっくり考えさせる」
ノートに自分の考えを文章や図, 記号などを効果的に使いながら記述させるノート指導の充実を図り, 考える力を高める。
- ③ 「はっきり表現させる」
数量関係について, グループで, 判断の根拠を明らかにし, 筋道立てて説明し伝え合う活動を小中を通して取り入れる。

来年度の目標値

- 「図形」の通過率を85%以上にする。
- 通過率80%の児童の割合を100%にする。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，児童質問紙）

(1) 生活・学習

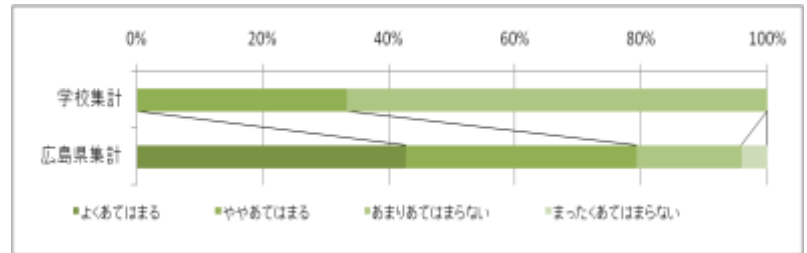


改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組の内容
◎ 本を読むことが好きな児童や読んだ本の内容についての交流を家族や友達と行っている児童が33%と低い。 ◇ 授業の予習をしていると回答した児童が60%以下と低い。	<ul style="list-style-type: none"> 本を活用した調べ学習を積極的に取り入れ、本を活用する場の設定をしていく。また、読書により親しませるために、本に関する友達や家族との交流の場を設定し、定期的に取り組んでいく。 自主学習の内容の一つとして、予習の進め方を教える。自主学習ノートのよい取り組み例を紹介したり、一人一人の日頃の取り組みを評価したりするなど児童の意欲を持たせる指導の工夫をしていく。

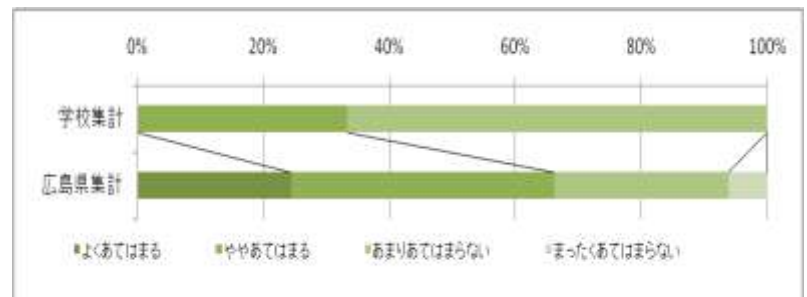
来年度の目標値	目標設定
	<ul style="list-style-type: none"> 本を読むのが好きな児童を80%以上にする。 授業の予習をしている児童を80%以上にする。

(2) 教科

国語の授業では、時と場合や相手によって、ていねいな言葉を使うなど、言葉の使い方を考えながら話しています。



算数の授業では、ともなって変わる2つの数や量の関係を調べるときには、まず、2つの数や量を順序よく表にあらわしています。



	児童の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	◎ 時と場合や相手によって、ていねいな言葉を使うなど、言葉の使い方を考えながら話している児童が33%と低い。 ◇ 学校図書室や地域の図書館をよく利用すると回答した児童が60%以下と低い。	<ul style="list-style-type: none"> 相手を意識した敬語やていねいな言葉を使う習慣がほとんどなく敬語に対する意識が低いので、相手や場を意識させた文章を書かせたり、話したりさせる場を意図的に設定していく。 本を活用した調べ学習を積極的に取り入れ、本を活用する場を意図的に設定していく。
算数	◎ ともなって変わる2つの数や量の関係を調べるときには、まず、2つの数や量を順序よく表にあらわすと回答した児童が33%と低い。 ◇ 「算数の勉強は好き」とほとんどの児童が回答しているが、「嫌い」と感じている児童もいる。	<ul style="list-style-type: none"> 指導者が指示した時は、表を活用することができるので、表を使うことのよさを実感させるような取り組みを進めていく。 教材・教具の工夫を行ったり、具体操作を取り入れた算数的活動を積極的に取り入れたりすることで、達成感や満足感を味わわせる。また、実態に応じた個別指導の充実を図る。

来年度の目標値	目標設定
	<ul style="list-style-type: none"> 時と場合や相手によって、ていねいな言葉を使う児童を80%以上にする。 算数が好きと答える児童を85%以上にする。

指導改善のための実施スケジュール

	～8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
	Plan	Do			Check		検証	Action	Check	
	結果の分析・H23の改善計画の見直し H24の改善計画の実施						次年度の計画			
【教科】										
国語	<p>パネル討論をしよう</p> <p>◎自分の立場を明確にして、相手の意図を考えながら話し合う。</p> <p>・言語技術トレーニング ・チャレンジタイムの充実 ・主語・術語を意識した書く活動</p>	<p>資料を読んで考えたことを書こう</p> <p>◎資料を生かして、自分の考えたことが伝わるように書く。</p>	<p>物語のおもしろさを考えて読み味わおう</p> <p>「注文の多い料理店」</p> <p>◎構成や表現の工夫に目を向けて、物語を読み味わう。</p>	<p>森林について興味を持ったことを調べよう</p> <p>「森林のおくりもの」</p> <p>◎題名の工夫や述べ方に注意して読み、要旨を読み取る。</p>	<p>動物と人間のかかわりをえがいた物語を読もう</p> <p>「大造じいさんとがん」</p> <p>◎一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げる。</p>	<p>活動したことを伝える文章を書こう</p> <p>「伝えよう、委員会活動」</p> <p>◎目的に合わせて書くことを選び、構成を考えて書く。</p>	<p>メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう</p> <p>「テレビとのつきあい方」</p> <p>◎例と意見との関係に注意して、筆者の考えを読み取る。</p> <p>◎読み取ったことをもとに、自分の考えを書く。</p>	<p>人間の生き方をえがいた伝記を読もう</p> <p>「手塚治虫」</p> <p>◎伝記を読み、人物の考えや生き方について考える。</p>		
算数	<p>「整数」</p> <p>◎倍数や約数の意味を知り、それらを求めたり、それらを使って問題解決したりすることができる。</p> <p>・チャレンジタイムの充実 ・算数ノートの指導 ・集団解決の指導の工夫</p>	<p>「分数」</p> <p>◎約分、通分の意味とその仕方を理解する。異分母分数の加減計算と整数による乗除計算ができる。</p>	<p>「面積」</p> <p>◎三角形や平行四辺形の面積の公式を理解し、面積を求めることができる。</p>	<p>「平均とその利用」</p> <p>◎平均の意味を理解し、いろいろな平均を求めることができる。</p>	<p>「単位量当たりの大きさ」</p> <p>◎単位量あたりの考えを用いて、燃費や密度などを求めることができる。</p>	<p>「割合」</p> <p>◎割合の意味について理解し、小数や百分率を用いて問題を解決することができる。</p>	<p>「円と多角形」</p> <p>◎円の直径と円周の関係、円周率の意味を理解し、円周や直径を求めることができる。</p>	<p>「角柱と円柱」</p> <p>◎立体の分類を通して角柱や円柱を理解し、見取り図や展開図をかくことができる。</p>		
【生活・学習】	<p>○1学期に実施した「生活調査」や「家庭学習の手引き」の結果を分析し、課題を見直し、全職員で共通理解を図る。</p> <p>○自主学習の実施（家庭との連携・進め方や内容の指導）</p>	<p>○児童、保護者それぞれを対象にした生活調査を実施、分析する。</p> <p>・自主学習の内容交流</p>	<p>○分析結果を家庭へ知らせ、改善等の協力を求める。</p> <p>・自主学習の内容交流</p>	<p>○学校だより、学級通信、学級懇談会を通して、啓発活動を行う。</p> <p>・2学期の振り返り</p>	<p>○児童、保護者それぞれを対象にした生活調査を実施、分析する。</p> <p>・3学期のスタートにあたって</p>	<p>○分析結果から、取組が児童の生活改善に結びついたかを検討し、今後の改善策を練る。</p> <p>・自主学習の内容交流</p>	<p>○改善された点、課題点を明確にし、全家庭へ知らせる。</p> <p>・学年の振り返り</p>	<p>○新学年スタートに向けて、家庭と学校との連携や児童への働きかけなどの必要性を知らせ、保護者に協力を求める。</p> <p>・新学年のスタートにあたって</p>		